



長期共済・税制適格年金 の強みを最大限に伝える方法

FPユニオンLabo
植田 一樹

著作権について

本資料において掲載されているすべての内容の著作権は、当社に帰属するか、当社が著作権者より許諾を得て使用しているものです。

著作権法および関連法律、条約により、私的使用など明示的に認められる範囲を超えて、本資料の掲載内容（文章、画像、映像など）の一部およびすべてについて、事前の許諾なく無断で複製、転載、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造することは、著作権侵害となり、法的に罰せられることがあります。

このため当社および著作権者からの許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。

本資料の転載、複製をご希望の場合、無償または有償にてご提供できる場合もありますので、下記連絡先まで事前にご一報いただけるようお願いいたします。

問い合わせ先：株式会社 F P ユニオン L a b o TEL03-3263-8558

セミナー不参加者への資料配布はお断りさせて頂いています。

セミナーに参加されていない方に資料を配布することは、誤解を招く可能性があることから、原則、禁止させて頂いています。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

※本資料は研修資料です。保険募集を目的に活用することを固く禁じます。

植田 一樹

KAZUKI UEDA

ファイナンシャルプランニング技能士2級
一般社団法人コーチングプラットフォーム認定コーチ
認定ウェルビーイング講師



【年齢】 39歳

【出身】 福岡県北九州市

【学歴】 同志社大学 商学部

【趣味】 旅行（全国47都道府県制覇）

お酒（70本程ボトル保有）

サウナ（2024年は135回、86施設でサ活）

投資（歴19年。特に株式投資好き）

- 株式会社FPユニオンLabo 執行役員
「日本経済を良くしていきたい」という想いで、年間100件以上セミナー登壇し、様々な知識を伝えている。また各種媒体での執筆経験や個別相談も多数の実績がある。
- 大学卒業後は当初大手ハウスメーカーに入社するも、お金に無頓着で知識もなかったため、一向にお金が貯まらずに悩む。
- ファイナンシャルプランナーの資格を取得する中で、「お金の知識の有無で人生は大きく差が出る」ことを痛感。
- 元々売れない営業マンだったが、人間心理を学んだことと、多くの人に価値あるお金の知識を伝えたいと思い、営業そっちのけでお客様にお得情報を伝えたことで逆に人気が出て、西日本トップの成績になる。
- 別業種の知識も得るため、外資系保険会社に転職。前職同様のスタイルで営業し、初年度から年間成績が同期の中で全国1位になる。
- 営業の傍ら、趣味で書いていたお金のブログがきっかけで、執筆やセミナーの依頼が入るようになる。これを機に、営業成績を追求せざるをえない営業職ではなく、「伝える」ことに重点をおきたいと思い、講師職を選択。

植田に相談したい
方はこちら

FPユニオン Labo FP コーチング Labo®

【HP】 <https://fpunionlabo.com/>

【10年後のあなたが変わるFP情報】
<https://fpunionlabo.com/contents/>



【HP】



【FP情報】



【個別相談】

資産運用の3つのポイント



金利

25歳の2人

老後に向け
毎月3万円
貯める

金利 0.1%

金利 1%

金利

65歳時の2人

約**302**万円の差

14692240

金利 0.1%

17711192

金利 1%

年間36万円を平均3%で20年間積立投資をしてみた

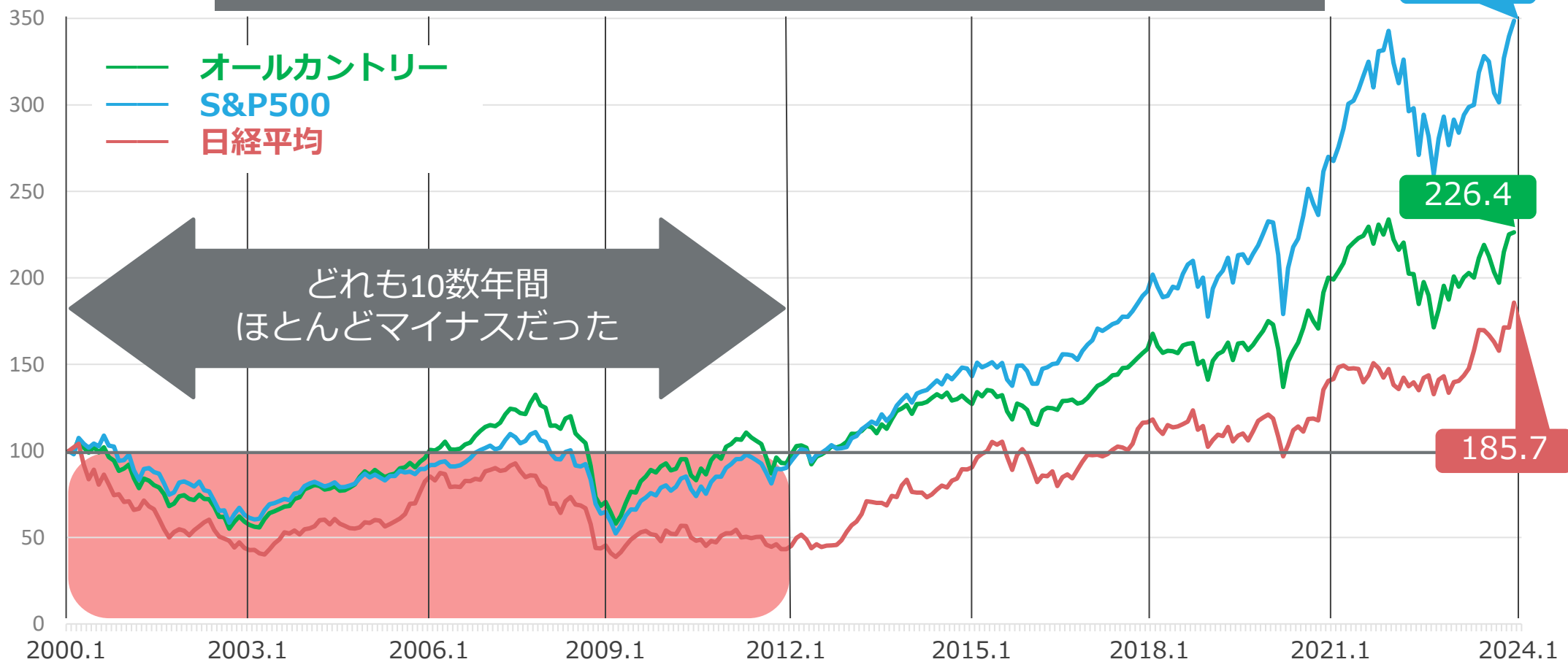
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
A	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
	370,800	752,724	1,146,106	1,551,289	1,968,628	2,398,486	2,841,241	3,297,278	3,766,997	4,250,806
B	10%	8%	8%	7%	9%	8%	15%	12%	3%	6%
	396,000	816,480	1,270,598	1,744,740	2,294,167	2,866,500	3,710,475	4,558,932	5,066,500	5,752,090
	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
A	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
	4,749,131	5,262,405	5,791,077	6,335,609	6,896,477	7,474,172	8,069,197	8,682,073	9,313,335	9,963,535
B	5%	3%	2%	11%	▲8%	▲4%	▲10%	▲7%	▲8%	▲10%
	6,417,695	6,981,026	7,487,846	8,711,109	8,345,421	8,357,204	7,845,483	7,631,100	7,351,812	6,940,630

どちらも平均3%なのに
Bの方は元本割れしていて（積立額は720万円）
結果に300万円ほどの差がある！

世の中で言われる『●%で●年運用した場合』は固定金利でのシミュレーション！
実際は変動するのでシミュレーション通りの金額になるわけではない！

NISAやiDeCoをやった方がいいんじゃないの？

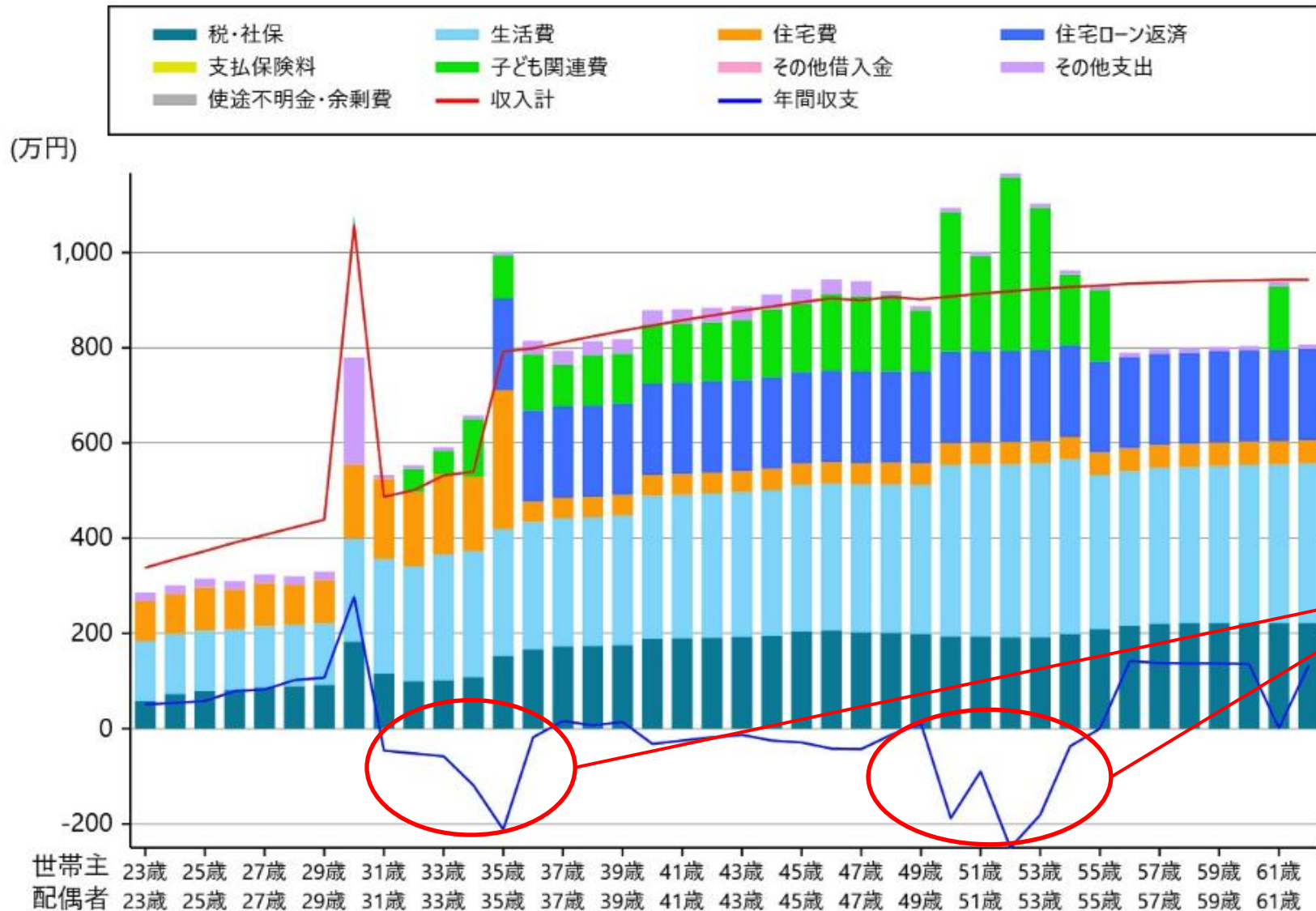
2000年1月を100とした場合の
オールカントリー（ACWI）とS&P500と日経平均の比較チャート



MSCIとinvesting.comの各データを基にFPユニオンLaboにて作成

世の中でオススメと言われるファンドでも、いつ下落局面に入り、それがどのくらい続くかわからないので、**長期目線ならOK**だが、**短期～中期（15年以内）に使う予定の資金には向かない**

将来のライフイベントのイメージ



子どもや住宅
関連資金など
が必要な時に
現金が枯渇
してしまうと
ライフプラン
が破綻する

資産運用は**予定通りに増えるわけではない**ので
ライフプランを踏まえた**戦略的な資産形成**が重要

長期間

少額でも良いので、
できるだけ長く（早く）やる

元本**480**万円

月**1**万円ずつ
貯めよう

月**2**万円ずつ
貯めるぞ

25歳

45歳

65歳

1%複利で運用した場合

1万円を
40年貯めた
Aさん

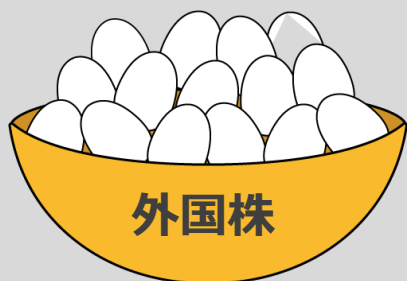
約**590**万円

2万円を
20年貯めた
Bさん

約**531**万円

ひとつのカゴに卵を盛るな

ひとつのカゴの場合

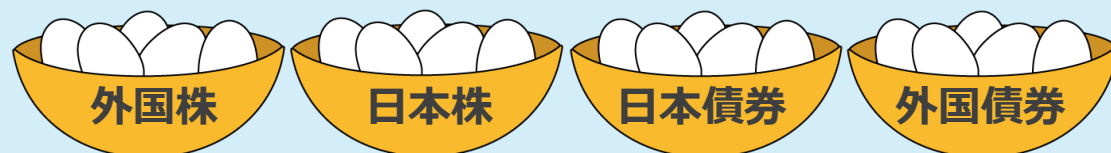


落下

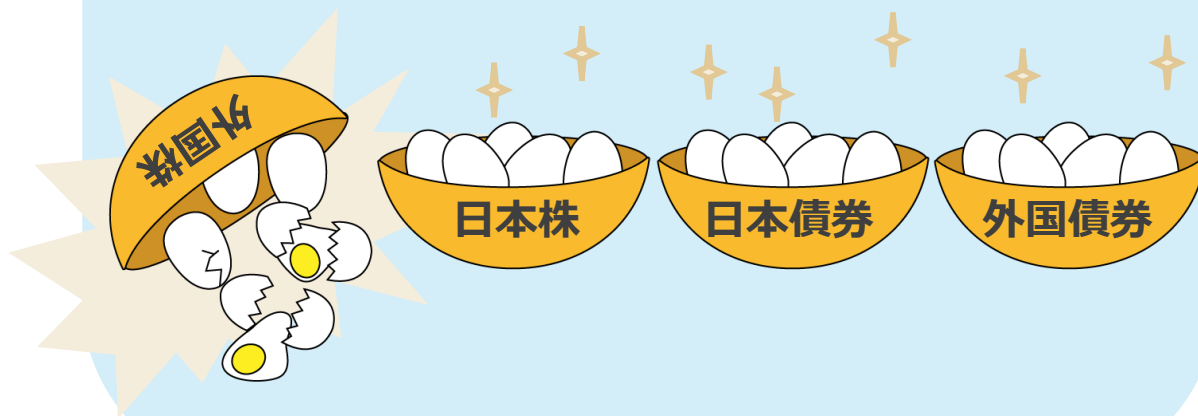


一度の落下で大きな損失

複数のカゴの場合



落下



ひとつが落下しても他でカバー

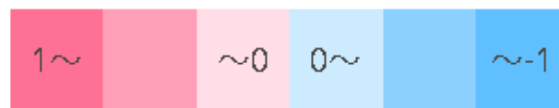
分散効果の関係性

<用語解説>

エマージング ⇒ 新興国

コモディティ ⇒ 商品
(ガソリンや食品等)

2つの資産は同じ動きをする
(=分散効果が低い)



2つの資産は反対の動きをする
(=分散効果が高い)

	現金	日本株	米国株	先進国株	エマージング株	日本債券	先進国債券	エマージング債	日本REIT	先進国REIT	エマージングREIT	コモディティ	金
現金													
日本株													
米国株													
先進国株													
エマージング株													
日本債券													
先進国債券													
エマージング債													
日本REIT													
先進国REIT													
エマージングREIT													
コモディティ													
金													

金融商品の 3 つの判断軸



すぐに
使えるか？

安全に
増やせるか？

効率良く
増やせるか？



3つの軸すべてが良い商品はないので、
各種商品を上手に使い分けることが大切

流動性

安全性

収益性

短期

中期

長期

1年以内

(生活費、交際費など)

Ex. 普通預金

数年後

(住宅、自動車費など)

Ex. 定期預金
債券

しばらく先

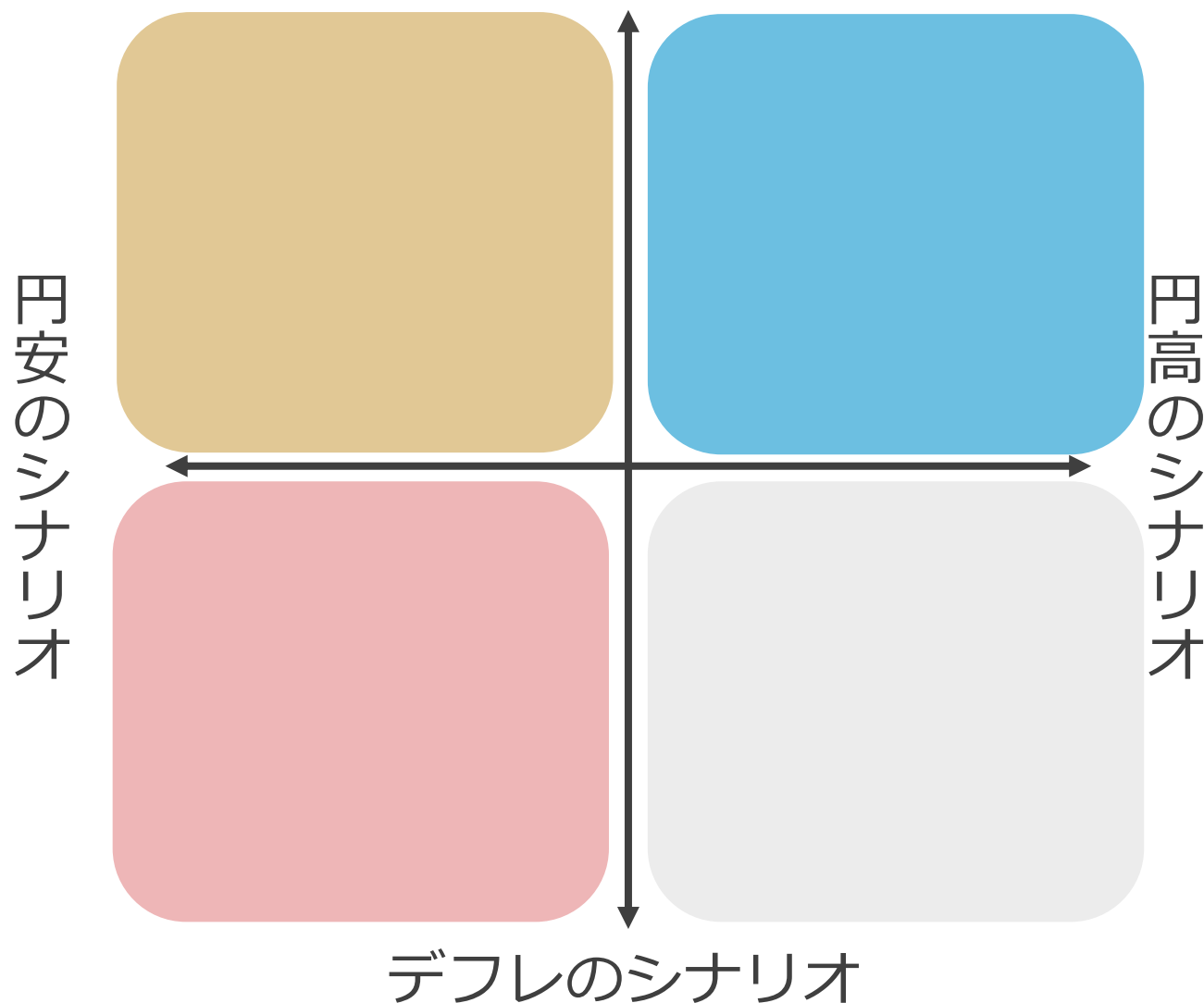
(老後資金など)

Ex. 個人年金保険
iDeCo

長期共済・税制適格年金、NISAなど

経済シナリオによる住み分け

インフレのシナリオ



- ①円預金
- ②外貨預金
- ③日本債券
- ④外国債券
- ⑤日本株式
- ⑥外国株式
- ⑦国内不動産
- ⑧海外不動産



- ・ 経済は常に変化し、有利なものも変わる
- ・ その時のシナリオの対角にあるものが仕込み時

分散

円預金
日本債券

日本株式
国内不動産

外国株式
海外不動産

外貨預金
外国債券

長期共済
税制適格年金

NISA（つみたて投資枠）

iDeCo

流動性

25歳男性

月1.5万円

※3,000円から可能

65歳まで積立

※1：2025年1月加入の場合の某保険会社の場合の例

※2：2025年1月の予定利率等にもとづき試算されたものです。
将来変更となる場合があります。

加入年数	払込掛金合計	一般の 個人年金保険 ※1	自治労の 長期共済 ※2
		解約返戻金	積立金
1年	180,000円	84,642円	176,500円
2年	360,000円	249,133円	355,000円
3年	540,000円	414,804円	535,500円
4年	720,000円	581,655円	718,500円
5年	900,000円	749,686円	903,500円
10年	1,800,000円	1,607,756円	1,860,000円
20年	3,600,000円	3,338,494円	3,945,500円
30年	5,400,000円	5,199,365円	6,283,500円
40年	7,200,000円	7,201,946円	8,905,000円

40年でプラス 5年でプラス

収益性

65歳で一括で受取った場合

※1：2025年1月加入の場合の某保険会社の場合の例

※2：2025年1月の予定利率等にもとづき試算されたものです。
将来変更となる場合があります。

25歳男性
月1.5万円
65歳まで積立

	一般の 個人年金保険 ※1	自治労の 長期共済 ※2
受取額	約 720.2 万円	約 890.5 万円
返戻率	約 100.03 %	約 123.68 %
40年間の 実質的な利回り	約 0.002 %	約 1.03 %

※10年確定年金の場合
73.73万円×10年＝737.3万円

※10年確定年金の場合
93.16万円×10年＝931.6万円

ボーナス等
で余力がある
際に入れて、
土台を大きく
すると強力な
武器になる

随時払

100万円を
40年間置いた場合

受取額	約 156.0 万円
返戻率	約 156.0 %
40年間の 実質的な利回り	約 1.11 %

税制適格年金の場合は 80%以上の人が活用できていない 個人年金保険料控除も使える

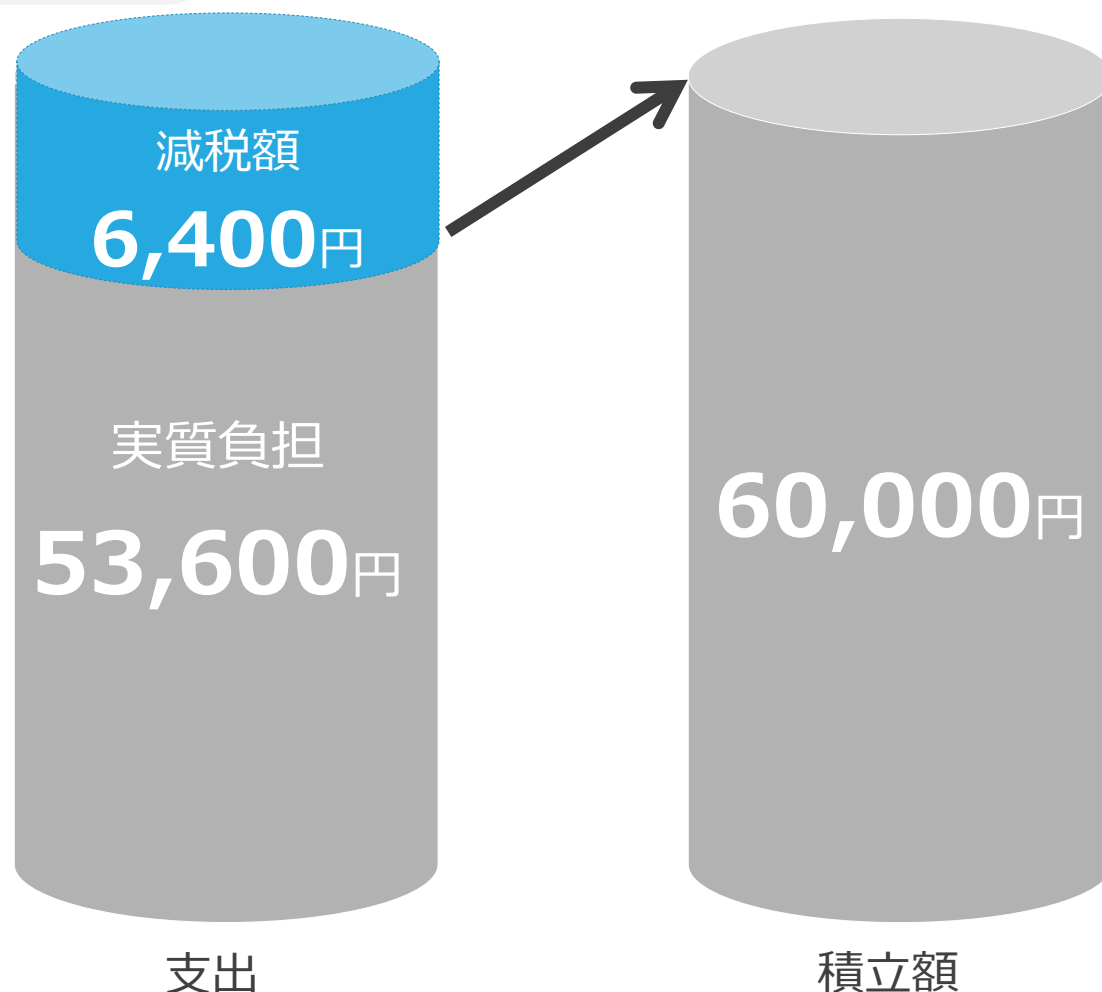
《前提条件》

夫婦・年収600万円

税制適格年金 積立額：年間6万円

利回り
約 **11.9** %^{※2}

※1
所得税：3,600円
住民税：2,800円



※1 収入や家族構成、積立額等の条件で異なります

※2 単利での表現です

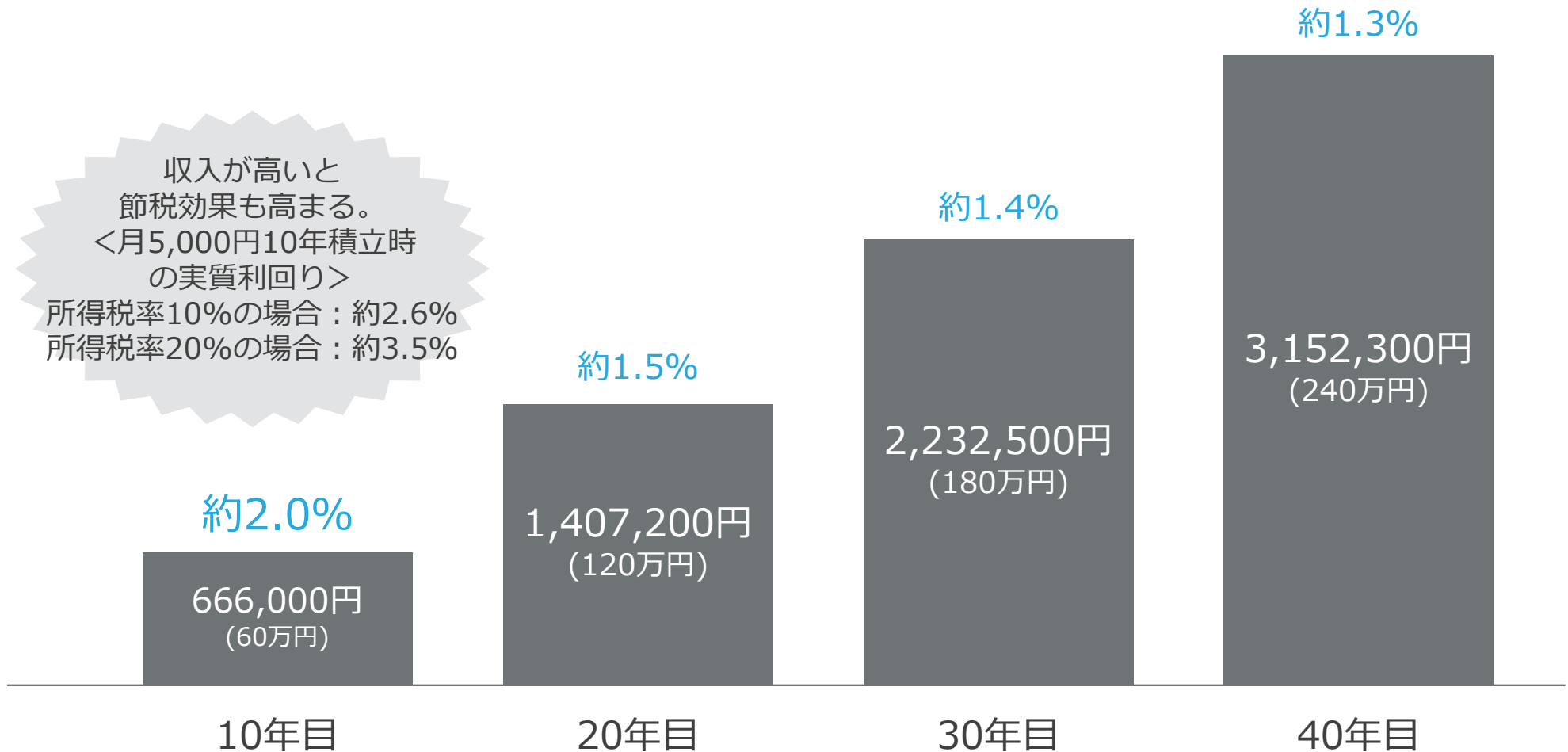
利回り＋節税による 税制適格年金の効果

※月5,000円で積み立てた場合

※現行の予定利率1.25%、所得税率5%の場合で試算

※グラフの（ ）の数字は積立元本額

※棒グラフ上の青字の数字は節税効果も含めた場合の実質利回り



伝えるポイントまとめ

- ・「金利」「長期間」「分散」を意識して資産形成しよう
- ・金利は高い方が良いけど、実際に運用すると固定金利のシミュレーションとは異なり、変動するので、積極的運用と手堅い運用の使い分けが大切。安定資産があるからこそリスクを取った運用も可能になる
- ・少額でも構わないから少しでも早く始めることが重要
- ・完璧な金融商品（制度）は存在しないので、「使う時期」と「経済シナリオ」で上手に使い分ける。
NISAやiDeCoはバッテリーングせず、お互いに補完し合える関係性の商品（制度）なので「敵」ではなく「味方」と考える
- ・長期共済、税制適格年金は「長期」が前提ではあるが、5年以上先であれば損することなく使え、預金より増えるので、ミドルリターンのセーフティネットとして捉えてもOK
（NISAなどでカバーできない「中期で確実に使いたい資金」としても使える）
- ・税制適格年金は節税効果も踏まえれば、かなり強力な武器となる